

「クロスカリキュラム授業」指導案

授業者	授業日・実施教科
	10月13日・2学年「古典」
クロスする教科・科目	実施可能時期
古典×世界史	2年生前半～

1 実社会、実生活から生じる問いや課題（本時のテーマ）

項羽が劉邦を殺さなかったのはなぜか

2 身につけてほしい学際的な見方・考え方（クロスする意義）

物事を考察するためには複数の分野の見方・考え方をを用いて多角的に考えることが重要

3 展開

	教科・科目1「 古典 」	教科・科目2「 世界史 」
導入 5分	①本時の学習活動「項羽が劉邦を殺さなかった理由を考える」を確認する。 ・理由の要因になりそうなことをあげる。 ・発表までの手順を確認する。	②出てきた要因を「世界史」「古典」に分ける。 心情（国語的文献） 目的（国語的文献） 背景（世界史的） 利害（国語／世界史） 状況（国語／世界史）
展開 45分	④古典的事項の確認（10分） ・「鴻門の会」の前日の様子が描かれた漢文を読み、ペアで内容を確認、発表後、現代語訳で理解する。 ・第1段落における劉邦の謝罪の様子を確認する。 ⑤理由を個人で考える（3分） ・これまでの学習内容をもとに個人で考える。 ・どの事項に注目してその考えに至ったかを明記させる。	③世界史的事項の確認（10分） ・スライドで、「楚」の特徴と「函谷関」の戦略的重要性を確認する。 歴史・地形・人間関係や経緯等既習事項を説明する。 ⑥グループで話し合ってみる。（10分） ・班に分かれる（8班）。 ・司会を中心に話し合う。 ⑦各班より発表する。（10分） ・発表者が発表する（1分×8班）。
まとめ 10分	⑧文献等での見解を伝える。	⑨異なる見解を紹介する ・見解プリントの配布 ・漫画の投影